

幼児期における平和教育(1)

橋 口 英 俊
(東京家政大学)

I はじめに

筆者は、これからの保育や教育はすべて、つねに世界を視野に入れた人間尊重の保育や教育であり、究極において世界平和に結びつくものでなければならないと思っている。すなわち、文明の発達により、ますます狭められつつある地球社会に生きるわれわれにとって、もはや世界平和ではあり得なくなっている。ゆえに、今後すべての保育や教育は、たえずそのことを念頭におき、積極的に国際社会の中で生きる一員としての自覚をもち、世界平和の推進者として、創造的・主体的に取り組むことができるよう人材育成が要請される。ところで、これまでも人間尊重や世界平和を保育や教育の目標に掲げ、強調している例は多く、特に戦後はそうである。しかしながら、そこにおける基本的な考え方は、概ね以下のような場合が多い。すなわち、幼児期から児童、青年と長ずるにつれて生活環境が拡大し、家庭から近隣へ、幼稚園(保育園)から小学校、中学・高校あるいは大学や地域社会へ、そしてさらに国家から世界へと広がっていく。つまりそうした環境の拡がりに対応して、たとえば幼児期であれば、家庭や幼稚園、保育園など子どもの日常場面における親切や思いやりなどの人間尊重の精神をしっかりと学習させておくことが、次の段階でのより拡大した場面での親切や思いやりに発展し、さらに青年期、成人期と長ずるにつれて、それが愛国心となり、そして最終的に世界平和の精神につながってくると考えるのである。いいかえれば、手段もいかならずとも世界を云々してもそれは所詮無理で、それよりもまず身近な家庭や幼稚園の中での平和から育てよというわけである。もちろん身近な人間関係を通じての学習は重要であるが、それだけで果たして将来、世界平和の精神と一体化できるのかということになると、はなはだ疑問を感じざるを得ないというのが率直な筆者の感想である。本稿ではそのへんに焦点をあわせ種々考えてみたい。

II 価値観調査の結果から

筆者らはここ数年米学校教育の中核をなす教科書がそれを実際に学んだ人々の人格形成にいかなる影響を及ぼすかを明らかにする目的で、明治以後の小学校教科書を、主として人間尊重という観点から内容分析し

てきた。また、その結果を中心に、戦後の学習指導要領や幼稚園の教育要領も含めて、57の価値項目を抽出し、現在生きていく上で重要だと思う価値観や過去の幼・小・中・高における教育観、さらに両親の(つけ親やわが子への育児観などを問う価値観調査表を作成した。そして、それをさまざまな年代層の人々に実施し、多岐量解析の手法を用いて多様な方向からの分析検討を試みてきた。そこで明らかにされたことは、価値観による世代差がさかえて大きく、多岐な幼児期から児童、青年期にかけての時代社会のもつ価値観、とりわけ教育との関係が深いことなどである。また、特に興味をもたれるのは、幼稚園や小学校などの教職希望の女子大生(210名)に行なった現在の価値観についての因子分析の結果である。すなわち、6因子が得られたが、そのうち第1因子は、明らかに「親切で、思いやりがある」因子で、第2因子は、「国を愛し、世界平和に貢献する」因子と解釈され、この両者は最も独立的で、相互にあまり関係がないということである。いいかえれば、幼児期に親切や思いやりの教育をしておけば、それがいずれは世界平和につながるという従来の保育や教育の考え方に對し、ある種の疑問を投げかけていることになる。

表は、上述の女子大生の価値観調査結果の一部である。すなわち、57の価値項目について、彼女らが重視した順にしたがって配列したものである。これをみてすぐわかることは「健康・安全」や「友人を大切にすること」あるいは「思いやり」などの項目がいずれの場合も上位であるのに対し「天皇を敬う」は別格として、「世界平和に貢献する」や「国を愛する」はいずれの場合も極端に低い。「国際的視野」もかなり下位を低迷しているが、特に幼・小期の教育観では全57項目中55位で、世界平和は54位、「国を愛する」は52位となっている。またその傾向は中・高になってもほぼ回復せず、ほぼ現在重要だと思う価値観や子育ての際の価値観にまで継承されていくことがわかる。たしかに健康や安全に気をつけ、友人を大切にしたり、思いやりは、人間尊重の教育の一環をなす重要な問題である。(しかし、特に現代では、それが国際的視野にたつた世界平和を前提にしたものでなければ、遂に戦争の論理にもつながりかねないのである。つまり、悪気はな

いのにその無知が、結果的に差別や偏見や独善を生み、(1)つの中に非生命尊重の先棒をかついていっているという可能性もあり得る。もちろん上の結果をすぐそれに短絡させるのは危険だが、先の因子分析の結果もあわせ、従来の保育や教育に対する一種の警告とみることは許されよう。すなわち、健康安全を大事にし、周囲への親切や思いやり、心のほか、国際的視野にたつた平和を愛し戦争を憎む、互の意味の人間尊重の精神と一体となるための保育や教育はいかにあるべきかということが今後の課題として大きく浮かびあがってくる。

Ⅲ まとめ

これまで幼児期における平和教育の重要性を説いた学者は多い。エラスムス、コメニウス、ルソー、ペストロフ、フレーベル、モンテッソーリ、リードなどみなそうだ。今日まで幾多の危機を迎えながら人類の破滅にまで至らなかった背景に、これら先人の直接間接に果たした役割は大きいと思う。(しかし果敢的な物質文明の発展とは裏腹に人類の危機的状況は加速され深刻の度を高めている。それを救う道は—に教育にあり特に幼児期からの人間尊重、世界平和のための教育がその鍵を握っているともいえる。

従来の幼児教育ではその中に平和を問題にしなから、世界や戦争をとり入れるのはまだ早すぎる。幼児期にはもうと大切なものがあるという考え方が強かった。はたしてそうか。最近の発達心理学や教育に心理学の知見を総合して考えると人間の生きる原型はすべて幼児期にある。想像や個性や直観を通して幼児なりにすべてを学習する能力を具えている。それは理屈を超えて知るという肉体と一体化をなす世界であり幼児期の平和教育の意義はまさにそこにある。

表 教師の望む女子大生の価値観

順位	現在生きている上での重要な価値観	過去の教育観(幼稚園・小学校)	過去の教育観(中学・高校)	将来のわが子への教育観
1	10. 健康安全に気を配る	10. 健康安全に気を配る	10. 健康安全に気を配る	10. 健康・安全に気を配る
2	5. 自分ひとりでできる	16. 正直である	39. 友人を大切に	11. のびのびとしている
3	37. 友人を大切に	37. 約束を守る	1. 勉強に励む	5. 自分ひとりでできる
4	29. 思いやりがある	39. 友人を大切に	5. 自分ひとりでできる	39. 友人を大切に
5	37. 約束を守る	29. 思いやりがある	20. やる気がある	29. 思いやりがある
6	20. やる気がある	6. ものを大切に	22. 意志が強い	37. 約束を守る
7	21. 誠実である	11. のびのびとしている	37. 約束を守る	6. ものを大切に
8	1. ものを大切に	28. ひろくや生物を愛する	30. 責任感が強い	16. 正直である
9	30. 責任感が強い	15. 規律正しい	32. 礼儀正しい	9. 体をきたえる
10	9. 体をきたえる	5. 自分ひとりでできる	35. 規則正しい	30. 責任感が強い
11	22. 意志が強い	27. 親切である	29. 思いやりがある	20. 親切である
12	41. 親に孝行をする	35. 規則正しい	21. 誠実である	20. やる気がある
13	13. 忍耐強い	9. 体をきたえる	9. 体をきたえる	21. 誠実である
14	27. 親切である	32. 礼儀正しい	16. 正直である	22. 意志が強い
15	16. 正直である	30. 責任感が強い	6. ものを大切に	26. 明るく元々である
16	28. ひろくや生物を愛する	7. おだ使いをしない	27. 親切である	13. 忍耐強い
17	32. 礼儀正しい	20. やる気がある	15. 規律正しい	29. ひろくや生物を愛する
18	12. 自信をもて行動する	40. 学年を大切に	23. 教養が豊かである	12. 自信をもて行動する
19	19. 自分を大切に	22. 意志が強い	41. 親に孝行をする	8. 勇気がある
20	11. のびのびとしている	21. 誠実である	49. 義務を果たす	7. おだ使いをしない
21	26. 明るく元々である	41. 親に孝行をする	34. 協調性がある	32. 礼儀正しい
22	8. 勇気がある	24. 協調性がある	13. 忍耐強い	24. スポーツを愛する
23	10. 学年を大切に	36. 正義感が強い	19. 自分を大切に	40. 学年を大切に
24	2. 仕事に励む	42. 先生を尊敬する	40. 学年を大切に	28. 費節である
25	7. おだ使いをしない	26. 明るく元々である	24. スポーツを愛する	51. 兄弟仲良くする
26	15. 規律正しい	4. 創意工夫する	38. 寛容である	19. 自分を大切に
27	49. 義務を果たす	24. スポーツを愛する	12. 自信をもて行動する	15. 規律正しい
28	24. 協調性がある	43. 月上を大切に	28. ひろくや生物を愛する	4. 創意工夫する
29	38. 寛容である	51. 兄弟仲良くする	26. 明るく元々である	23. 教養が豊かである
30	4. 創意工夫する	12. 自信をもて行動する	7. おだ使いをしない	25. 孝行を愛する
31	23. 教養が豊かである	8. 勇気がある	36. 正義感が強い	34. 協調性がある
32	35. 規則正しい	45. 公正公平にする	43. 月上を大切に	38. 正義感が強い
33	36. 正義感が強い	44. 義務を果たす	17. 志を大切に	49. 義務を果たす
34	14. 謙虚である	13. 忍耐強い	4. 創意工夫する	35. 規則正しい
35	17. 志をきたえる	19. 自分を大切に	11. のびのびとしている	41. 親に孝行をする
36	51. 兄弟仲良くする	28. 寛容である	42. 先生を尊敬する	45. 公正公平にする
37	24. スポーツを愛する	1. 勉強に励む	3. 競争に勝つ	14. 謙虚である
38	57. 国際的視野をもつ	25. 孝行を愛する	25. 孝行を愛する	19. 志をきたえる
39	25. 孝行を愛する	17. 志をきたえる	14. 謙虚である	2. 仕事に励む
40	45. 公正公平にする	33. 社会(公共)のために	8. 勇気がある	43. 月上を大切に
41	1. 勉強に励む	14. 謙虚である	45. 公正公平にする	59. 国際的視野をもつ
42	31. 義理人情にあつ	23. 教養が豊かである	33. 社会(公共)のために	31. 義理人情にあつ
43	50. 思に報いる	31. 義理人情にあつ	57. 国際的視野をもつ	42. 先生を尊敬する
44	43. 月上を大切に	53. 指導力がある	2. 仕事に励む	50. 思に報いる
45	33. 社会(公共)のために	50. 思に報いる	53. 指導力がある	33. 社会(公共)のために
46	46. 近所づきあをする	2. 競争に勝つ	51. 兄弟仲良くする	46. 近所づきあをする
47	56. 憲法を守る	2. 仕事に励む	31. 義理人情にあつ	53. 指導力がある
48	42. 先生を尊敬する	44. 祖先を敬う	50. 思に報いる	1. 勉強に励む
49	48. 世界平和に貢献する	46. 近所づきあをする	47. 権利を主張する	44. 祖先を敬う
50	53. 指導力がある	56. 憲法を守る	56. 憲法を守る	56. 憲法を守る
51	47. 権利を主張する	47. 権利を主張する	48. 世界平和に貢献する	47. 権利を主張する
52	44. 祖先を敬う	55. 国を愛する	44. 祖先を敬う	48. 世界平和に貢献する
53	55. 国を愛する	18. 迷信にまどわれない	46. 近所づきあをする	55. 国を愛する
54	18. 迷信にまどわれない	48. 世界平和に貢献する	52. 出世する	3. 競争に勝つ
55	3. 競争に勝つ	57. 国際的視野をもつ	55. 国を愛する	52. 出世する
56	52. 出世する	52. 出世する	18. 迷信にまどわれない	18. 迷信にまどわれない
57	54. 天皇を敬う	54. 天皇を敬う	54. 天皇を敬う	14. 天皇を敬う